

安全データシート (SDS)
<混合物用 (塗料用)>

1. 化学品及び会社情報

製品番号 001-849 CLIMAX ECO 849 NEW FINE METALLIC
 製品名 クライマックスECO 849ニューファインメタリック
 毒劇法 該当せず
 種類 水溶性塗料
 主な用途 自動車補修用塗料

会社名 株式会社ソフト99オートサービス
 住所 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町3-1-3
 部門 開発部 TELNO. 06-6947-9955
 担当者 濱根 一平 FAXNO. 06-6945-9991
 作成者 濱根 一平 作成・改訂 2017年6月30日
 ホームページアドレス <http://soft99-as.co.jp>

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

GHS分類を評価した結果、GHS分類に該当した項目のみ表示しています。
 表示の無い項目は、分類できない、区分外のいずれかに当たります。

引火性液体 区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2

【GHSラベル要素】



警告

【危険有害性情報】

- ・引火性のある液体である。
- ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- ・重篤な眼への刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。

【注意書き】

《予防策》

- ・規制当局が指定する保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
- ・炎および高温のものから遠ざけること。
- ・大火災および大量にある場合：区域より退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。

《応急措置》

- ・(水がリスクを増大させる場合) 火災の場合には、消火に規制当局が指定する適当な手段を使用すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・取り扱った後、手を洗うこと。

《保管》

- ・涼しい所/換気の良い場所で保管すること。

《廃棄》

- ・内容物/容器を行政の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

成分及び含有量 (危険有害物質を対象)

No. 成分名	CAS No.	含有量 Wt%	P R T R 対象	安衛法NO-備考
1) 非結晶性シリカA	7631-86-9	0.1~ 1		312
2) アルミニウム粉	7429-90-5	1~5		37
3) イソブチルアルコール	78-83-1	0.1~ 1		477
4) プロピレングリコールモノメチルエーテル	107-98-2	10~ 15		496
5) プロピレングリコールモノプロピルエーテル	1569-01-3	1~ 5		
6) ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤A (元素名)	104810-48-2	0.1~ 1		

該当元素を含まず

* 元素名と成分名の欄に同一P R T R物質番号がある場合のP R T R計算は、元素名の含有量を用いて下さい。

4. 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

- 皮膚に付着した場合
 - ・付着物を布で素早く拭き取る。
 - ・大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。溶剤・シンナーは使用しない。
- 目に入った場合
 - ・外観に変化や痛みがある場合、SDSを提示して医師の診断を受ける。
 - ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
 - ・出来るだけ速くSDSを提示し医師の診断を受ける。
 - ・直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合
 - ・誤って飲み込んだ場合安静にし直ちにSDSを提示し医師の診断を受ける。
 - ・無理に吐かせない。嘔吐物は飲み込ませない。
 - ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 応急措置をする者の保護
 - ・適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。
 - ・換気を行う。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤 炭酸ガス 泡 粉末

乾燥砂 霧状強化剤

使用してはならない消火剤 水（棒状水、高圧水） 棒状強化剤

消火方法

- ・適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・指定の消火器もしくは消火設備を使用する。
- ・高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- ・消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具（手袋・保護マスク・保護メガネ等）を着用する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- ・河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。
- ・漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
- ・付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
- ・衝撃・静電気で火花が発生しない材質の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂・土・その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の
方法・機材

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・換気の良い場所で取り扱い容器はその都度密栓する。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・使用済ウエス・塗料カス・スプレーダスト等は廃棄するまで水に浸しておく。
- ・温度が高くなると引火性となるので注意する。
- ・密閉場所での作業は十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着用する。
- ・皮膚・粘膜または着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。
- ・過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。

保管

8. ばく露防止及び保護措置

No. 物質名

管理濃度

ACGIH(TLV-TWA)

1)非結晶性シリカA

2)アルミニウム粉

10M asAl

3)イソブチルアルコール

50P

50P

4)プロピレングリコールモノメチルエーテル

100P

5)プロピレングリコールモノプロピルエーテル

6)ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤A

略記号： P：ppm M：mg/m³ ACGIH：米国産業衛生専門家会議の定める恕限度

設備対策

- ・取扱い設備は防爆型を使用する。
- ・排気装置を付け蒸気が滞留しないようにする。
- ・液体の輸送・汲取り・攪拌等の装置は接地する。
- ・取扱い場所の近くに高温・発火源となるものが置けない設備にする。
- ・屋内塗装の場合、自動塗装機を使用する等、作業者が直接ばく露されない設備にするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるようにする。
- ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合、底部まで十分に換気できる装置を取付ける。
- ・長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にする。

呼吸系の保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚および身体の保護具

- ・有機ガス用防毒マスクを着用する。
- ・密閉された場所では送気マスクを着用する。
- ・有機溶剤または化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- ・保護メガネを着用する。
- ・取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

状態(20°C): 液体 色: 銀色系 臭気: エマルション臭

pH: 7.5

融点・凝固点: 情報なし 沸点: 100 °C ~ 120 °C 引火点 62.0 °C (消防法の試験方法による)

爆発限界 (下限) 2.7 % (上限) 11.8 %

蒸気圧: 1013/Pa (20 °C)

蒸気密度: 情報なし 密度: 1.01g/cm³ 溶解度: 情報なし

n-オクタノール/水分配係数: 情報なし

自然発火温度: 情報なし 分解温度: 情報なし

臭いの閾値: 情報なし 蒸発速度: 情報なし 燃焼性 (固体・ガス): 情報なし

その他: